

平成30年8月15日

各 位

会 社 名 : 日本エンタープライズ株式会社  
 代表者の役職名 : 代表取締役社長 植田勝典  
 (コード番号 4829 東証第一部)  
 問合せ先責任者 : 常務取締役 田中 勝  
 T E L : 0 3 - 5 7 7 4 - 5 7 3 0

(訂正・数値データ訂正)「平成30年5月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

平成30年7月11日に公表いたしました「平成30年5月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」に一部訂正がございましたので、下記のとおりお知らせいたします。訂正前と訂正後を表示し、訂正箇所には下線を付して表示しております。なお、数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データも送信しております。

1. 訂正の理由

平成30年5月期決算短信発表後の有価証券報告書の作成過程におきまして、決算短信の連結キャッシュ・フロー計算書における取引内容の追加に伴う表示区分の変更の必要性が判明しましたので、提出済みの決算短信を訂正させていただくものであります。

2. 訂正の内容

【サマリー情報】

1. 平成30年5月期の連結業績(平成29年6月1日～平成30年5月31日)

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

(訂正前)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
30年5月期	<u>457</u>	<u>483</u>	<u>△215</u>	4,115
29年5月期	429	△164	△151	3,389

(訂正後)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
30年5月期	<u>314</u>	<u>626</u>	<u>△215</u>	4,115
29年5月期	429	△164	△151	3,389

【添付資料 P. 3】

1. 経営成績等の概況

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

①当期の概況

(訂正前)

(省略)

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前当期純利益 3 億 40 百万円 (前連結会計年度比 77.8%増)、減価償却費 2 億 24 百万円 (同 8.0%増)、売上債権の減少額 1 億 28 百万円 (前連結会計年度は売上債権の増加額 13 百万円) 等による資金の増加が、仕入債務の減少額 88 百万円 (同 23.7%減)、法人税等の支払額 1 億 35 百万円 (同 33.4%減) 等の資金の減少を上回ったことにより、当連結会計年度の営業活動によるキャッシュ・フローは4 億 57 百万円の資金の増加となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

クリエイション事業に係るソフトウェア開発を中心に無形固定資産の取得に 1 億 44 百万円 (同 54.7%) 及び定期預金の預入による支出 5 億 19 百万円 (同 42.1%減) がありましたが、満期を迎えた定期預金の払戻による収入 9 億 9 百万円 (同 30.4%増) 及び長期預金の払戻による収入 3 億円 (同 50.0%増) 等により、当連結会計年度の投資活動によるキャッシュ・フローは4 億 83 百万円の資金の増加となりました。

(省略)

(訂正後)

(省略)

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前当期純利益 3 億 40 百万円 (前連結会計年度比 77.8%増)、減価償却費 2 億 24 百万円 (同 8.0%増)、売上債権の減少額 1 億 28 百万円 (前連結会計年度は売上債権の増加額 13 百万円) 等による資金の増加が、事業譲渡益 1 億 43 百万円、仕入債務の減少額 88 百万円 (同 23.7%減)、法人税等の支払額 1 億 35 百万円 (同 33.4%減) 等の資金の減少を上回ったことにより、当連結会計年度の営業活動によるキャッシュ・フローは3 億 14 百万円の資金の増加となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

クリエイション事業に係るソフトウェア開発を中心に無形固定資産の取得に 1 億 44 百万円 (同 54.7%減) 及び定期預金の預入による支出 5 億 19 百万円 (同 42.1%減) がありましたが、満期を迎えた定期預金の払戻による収入 9 億 9 百万円 (同 30.4%増)、長期預金の払戻による収入 3 億円 (同 50.0%増) 及び事業譲渡による収入 1 億 43 百万円等により、当連結会計年度の投資活動によるキャッシュ・フローは6 億 26 百万円の資金の増加となりました。

(省略)

【添付資料 P. 4】

1. 経営成績等の概況

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

②キャッシュ・フロー指標

(訂正前)

(省略)

	平成26年5月期	平成27年5月期	平成28年5月期	平成29年5月期	平成30年5月期
自己資本比率 (%)	75.7	81.6	83.5	80.2	82.1
時価ベースの自己資本比率 (%)	155.8	219.7	172.6	170.1	144.4
キャッシュ・フローの対有利子負債比率 (年)	0.0	—	—	0.7	<u>0.7</u>
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	6,521.0	—	986.0	122.0	<u>137.7</u>

(省略)

(訂正後)

(省略)

	平成26年5月期	平成27年5月期	平成28年5月期	平成29年5月期	平成30年5月期
自己資本比率 (%)	75.7	81.6	83.5	80.2	82.1
時価ベースの自己資本比率 (%)	155.8	219.7	172.6	170.1	144.4
キャッシュ・フローの対有利子負債比率 (年)	0.0	—	—	0.7	<u>1.0</u>
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	6,521.0	—	986.0	122.0	<u>94.6</u>

(省略)

【添付資料 P. 12 P. 13】

3. 連結財務諸表及び主な注記

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(訂正前)

	(単位：千円)	
	前連結会計年度 (自 平成 28 年 6 月 1 日 至 平成 29 年 5 月 31 日)	当連結会計年度 (自 平成 29 年 6 月 1 日 至 平成 30 年 5 月 31 日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
(中略)		
関係会社株式売却損益 (△は益)	22,912	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	105,917	△6,015
(中略)		
小計	633,828	595,394
利息及び配当金の受取額	2,677	823
利息の支払額	△3,516	△3,319
法人税等の支払額	△203,988	△135,768
営業活動によるキャッシュ・フロー	429,002	457,130

(単位：千円)

	(単位：千円)	
	前連結会計年度 (自 平成 28 年 6 月 1 日 至 平成 29 年 5 月 31 日)	当連結会計年度 (自 平成 29 年 6 月 1 日 至 平成 30 年 5 月 31 日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
(中略)		
連結の範囲の変更を伴う子会社株式会社の売却による支出	—	※2 △2,591
会員権の取得による支出	△5,400	—
(中略)		
投資活動によるキャッシュ・フロー	△164,022	483,165

(訂正後)

	(単位：千円)	
	前連結会計年度 (自 平成 28 年 6 月 1 日 至 平成 29 年 5 月 31 日)	当連結会計年度 (自 平成 29 年 6 月 1 日 至 平成 30 年 5 月 31 日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
(中略)		
関係会社株式売却損益 (△は益)	22,912	—
事業譲渡損益 (△は益)	—	△143,000
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	105,917	△6,015
(中略)		
小計	633,828	452,394
利息及び配当金の受取額	2,677	823
利息の支払額	△3,516	△3,319
法人税等の支払額	△203,988	△135,768
営業活動によるキャッシュ・フロー	429,002	314,130

(単位：千円)

	(単位：千円)	
	前連結会計年度 (自 平成 28 年 6 月 1 日 至 平成 29 年 5 月 31 日)	当連結会計年度 (自 平成 29 年 6 月 1 日 至 平成 30 年 5 月 31 日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
(中略)		
連結の範囲の変更を伴う子会社株式会社の売却による支出	—	※2 △2,591
事業譲渡による収入	—	143,000
会員権の取得による支出	△5,400	—
(中略)		
投資活動によるキャッシュ・フロー	△164,022	626,165

以 上